



# 医療連携室だより

公立置賜総合病院医療連携室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

## 産婦人科の

### 病診連携

産婦人科  
診療部長  
沼崎 政良

…… 1

公立置賜総合病院  
の動き

院内がん診療  
委員会について  
改正指定要件  
の概要

…… 2

公立置賜総合病院  
医師一覧…… 3

公立置賜総合病院  
の予約変更の取り  
扱いについて…… 4  
放射線治療外来  
の変更について…… 4  
紹介・逆紹介状況  
…… 4

## 産婦人科の病診連携

産婦人科 診療部長 沼崎 政良

最近の産婦人科診療は、大きく様変わりした。先日、当院の若先生と低置胎盤症例の方針を検討していた際、自分が10年前だったらどうしただろうかと、ふと思った。やはり福島県立病院の事件が大きく影響しているのだろう。私たちが卒業した頃は、すでに先輩から



なかった、デメリットが現れはしないか。

それでも、当地域は病診連携は、比較的上手くしているのではないかと感じる。残念ながら34週未満の妊婦さんは、山形に搬送しているが、できる範囲で、紹介患者さんは受け入れたいと思っている。また当院からの紹介も、地域で引き受け

### 集約化のメリット…… 想像もしないデメリット……

婦人科は斜陽産業であるといわれたが、それでも県内は、お産を扱っている病院は多かった。1人でがんばっておられる先生が結構おられた。それが、徐々にさまざまな理由はあるのだろうが、ひとつ減りふたつ減りし、本当に少なくなってしまった。当然集約化の方向へ向かっていくのはやむを得ないことなのだろうが、地域の事情ということもある。ついに、小国病院もお産をやめらしい。冬場、吹雪の夜産気づき、長距離を移動しなければならない妊婦さんの事を考え

ると、事故が起きなければよいと思う。

在住する長井市も、子供を見かけない町になってしまった。先日おばを訪ねて世田谷のある私鉄の駅を降りてから、その家に着くまで、本当に子供とすれ違わなかった。特別な日でも、時間帯でもなかったのだが。東京でも長井でも、少子高齢化。産婦人科は長期斜陽化に歯止めがかからず、人手不足。これから、どうなっていくのだろう。集約化がすんなりいくのだろうか。今思われている集約化のメリットは、きちんと現実のものとなるのか。想像もし

ていただいております。集約化が進むと、一施設のみ分娩が集中し、問題化するといったことがあるようで、将来ローリスク分娩とハイリスクを分担できるようにになると、いい方向に行くのではないかと。条件を整えば、オープン化も、こうした問題を解決する手段になりうるのではないかと。そんなことを、今考えています。

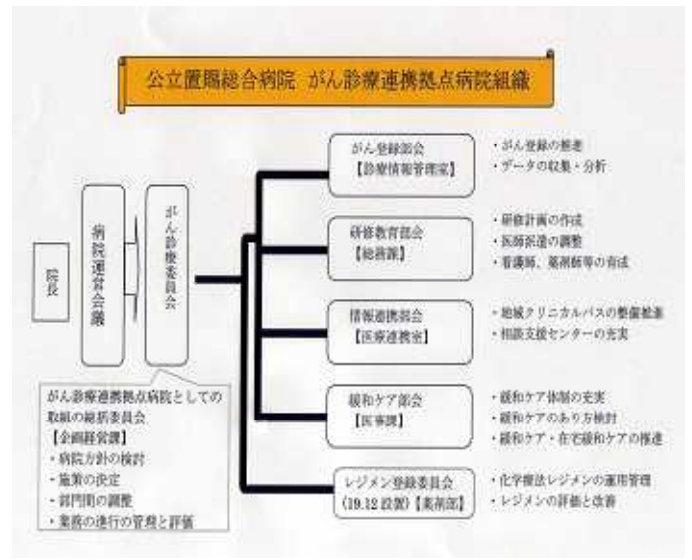
深夜、腹痛の患者さんの診察を終え、静まり返った病棟。妙に頭が冴えて眠れず、産婦人科診療の現在・過去・未来を思った。

## 平成20年度 院内がん診療委員会について

既にごん診療連携拠点病院の指定を受けている病院は平成22年3月末日までは新指針の指定を受けているものとみなされま

す。  
平成22年4月1日以降も引き続きがん診療拠点病院として指定を受ける場合は、平成21年10月末日まで指定更新の手続きをすることになります。ただし、地域連携クリティカルパスについては平成24年4月1日施行となります。

がん診療連携拠点病院としてのさらなる機能充実と体制整備のため、平成20年度新体制で進めることとなりました。「がん診療委員会」を中心に、研修教育部会、緩和ケア部会、情報連携部会、がん登録部会を設置し、県協議会との整合性を取りながら、本院の体制を強化していくことを目的としています。



## 指定要件に沿った体制を計画的に整備していきます

新指針に掛かる言葉の説明  
クリティカルパス:検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表を言う。

キャンサーボード:手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。

地域連携クリティカルパス:がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表。

セカンドオピニオン:主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。

専任:就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事していること。

専従:就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していること。

がん診療委員会委員長は、副院長の豊野充先生、各部長は、研修教育部会長が、稲毛稔先生、緩和ケア部会長が、橋本敏夫先生、情報連携部会長(代理)が、東敬之先生、がん登録部会長は、豊野充先生です。

平成20年3月1日付けで「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」が定められ、これに基づき、本院においても指針に沿った対応を積極的に進めて行くこととなります。集学的治療体制の整備、キャンサーボードの設置、

地域連携クリティカルパスの整備、緩和ケア体制の強化、相談支援センター業務の充実強化、院内がん登録的確な推進等、次回指定更新申請時期を目処に体制整備を計画にて進めていくこととなります。

## 改正指定要件の概要 移行期限 平成22年3月末日まで

**放射線療法:**専任の医師・専従の診療放射線技師・専任の常勤機器管理技術者それぞれ1人以上

**化学療法:**専任の医師・常勤薬剤師・常勤看護師をそれぞれ1人以上、外来化学療法室の設置

**緩和ケア:**緩和ケアチーム(専任の身体症状緩和に関わる医師・精神症状緩和に関わる医師・専従の常勤看護師それぞれ1人以上)の整備と組織上

明確に位置付け、また外来において緩和ケアを提供できる体制の整備

**その他診療体制:**院内クリティカルパスの整備、キャンサーボードの設置と定期的開催、専門的な知識と技能を有する医師によるセカンドオピニオンの提示体制、地域連携クリティカルパスの整備、専従の病理診断医師1人以上の配置

**研修の実施体制:**地域

のがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア関連研修の定期実施

**情報収集提供体制:**相談支援センターに所定の研修を了した専従・専任者をそれぞれ1人以上配置

**院内がん登録:**所定の研修を了した専任者1人以上配置、毎年集計結果をがん対策情報センターへ情報提供

平成24年4月1日施行

# 公立置賜総合病院医師一覧

平成20年8月までの人事異動にともなう公立置賜総合病院の診療科毎医師一覧です。4月より皮膚科常勤医師不在となりました。皮膚科外来は、月曜日・水曜日・金曜日と木曜日(午後のみ)となります。8月より呼吸器外科2名体制となりました。

<b>院長</b> <b>副院長</b> (兼)診療部長 (兼)教育研修 (兼)放射線部 長(兼)臨床工	新澤陽英 豊野 充	<b>小児科</b> 科 長 医 長 医 師 医 師	仁科正裕 木島一己 笹 真一 酒井愛子	<b>産婦人科</b> 診療部長 科 長 医 長 医 師	沼崎政良 手塚尚広 森 敏恵 前川絢子
<b>内科</b> <b>【消化器】</b> 診療部長 科 長 医 長 医 長 医 長 医 長 医 長 医 師	鵜飼克明 (兼)内視鏡室長 渡辺晋一郎 武田 忠 大村清成 服部悦子 安藤嘉章 柄澤 哲 八木 周	<b>精神科</b> 科 長 医 長 医 師	赤羽隆樹 鈴木春芳 佐々木哲也	<b>眼 科</b> 科 長 医 長	梅津由子 高橋知美
<b>【呼吸器】</b> 科 長 医 長 医 長 医 長 医 師	稲毛 稔 (兼)救命セン ター医長 武田 幸 荒生 剛 片桐祐司 福岡幸治	<b>外 科</b> 診療部長 外科(二)科長 医 長 医 長 医 長 医 師 医 師 医 師	(兼)外科(一)科 長 薄場 修 小澤孝一郎 橋本敏夫 東 敬之 木村真五 間瀬健次 福元 剛 横山森良	<b>耳鼻咽喉科</b> 科 長 医 長 医 師	櫻井真一 大竹祐輔 齋藤史明
<b>【糖尿病・内分泌】</b> 科 長 医 師	(兼)栄養科科長 江口英行 能登貴史	<b>整形外科</b> 診療部長 科 長 医 長 医 長 医 長 医 師 医 師 医 師	(兼)リハビリ テーション室長 林 雅弘 豊島定美 佐藤哲也 後藤文昭 佐々木淳也 田中 賢 塚本重治 諏訪通久	<b>泌尿器科</b> 診療部長 医 長	(兼)科長 久保田洋子 大地 宏
<b>【腎臓・透析】</b> 医 師 医 師	(兼)人口透析室 長 高橋俊之 鈴木和子	<b>脳神経外科</b> 診療部長 医 長 医 師	(兼)科長 金城利彦 (兼)救命セン ター医長 黄木正登 山田裕樹	<b>放射線科</b> 科 長 医 師	伊東一志 豊口裕樹
<b>【血液】</b> 輸血部長 医 師	(兼)医療安全部 長 佐藤伸二 軽部宏紀	<b>循環器科</b> 科 長 医 長 医 師 医 師 医 師	角田裕一 山内 聡 屋代祥典 本田晋太郎 長谷川寛真	<b>麻酔科</b> 科 長 医 長 医 長	(兼)手術室長 山口勝也 鈴木香織 那須郁子
<b>臨床検査部</b> 部 長	布山繁美	<b>呼吸器外科</b> 医療連携部長 医 師	山田昌弘 深谷 建	<b>歯科口腔外科</b> 科 長 歯科医師 歯科医師	安川和夫 山森 郁 平 幸雄
		<b>心臓血管外科</b> 科 長	後藤智司	<b>救命救急センター</b> センター長 副センター長	岩谷昭美 佐藤光弥
				<b>臨床研修医</b> 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医 臨床研修医	山岸敦史 沼田 綾 影山咲子 岡崎慎史 上田一気 鈴木啓介 作田和裕 尾形貴史 後藤崇成



7月1日人事異動  
新任  
放射線部医師  
豊口裕樹先生

退職  
心臓血管外科医長  
中嶋和恵先生  
放射線部医師  
渡會文果先生



8月人事異動  
新任

呼吸器外科医師  
深谷 建先生



公立置賜総合病院  
医療連携室  
〒992-0601  
山形県東置賜郡川西町  
大字西大塚 2000 番地

TEL:  
0238-46-5000  
内線 1902, 1409

FAX:  
0238-46-5722

E-MAIL:  
renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念  
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院組合  
公立置賜総合病院  
www.okitama-hp.or.jp

## 公立置賜総合病院の 予約変更の取り扱い について

当院では、予約の変更が非常に多く、通常の業務の支障になっております。恐れ入りますが、9月1日(月)より、予約日の変更にもなう検査の移行は行わないことにさせていただきます。検査の予約は、再度外来を受診し、あらためて予約いただくこととなります。なるべく予約している検査日に受診くださるようお願いいたします。

## 放射線治療外来の 変更について

9月1日より、放射線治療外来は、木曜日、週1回のみとなります。

従来は、月曜日と木曜日の週2回実施しておりましたが、放射線治療専門医の都合により上記のようになりますので、ご了承ください。

## 相談支援センター のご案内

当院では、医療の信頼性を高めるため、患者さんやご家族あるいは地域の方々から、がんを含めた病気や診療に関する相談をお受けする「相談支援センター」を開設しております。

どの科・どの病院を受診したらいいのかわからない？

がんの疑いといわれたけれども不安でたまらない？

診断や治療についてもっと詳しく知りたい？

医療費はいくら位かかるか知りたい？

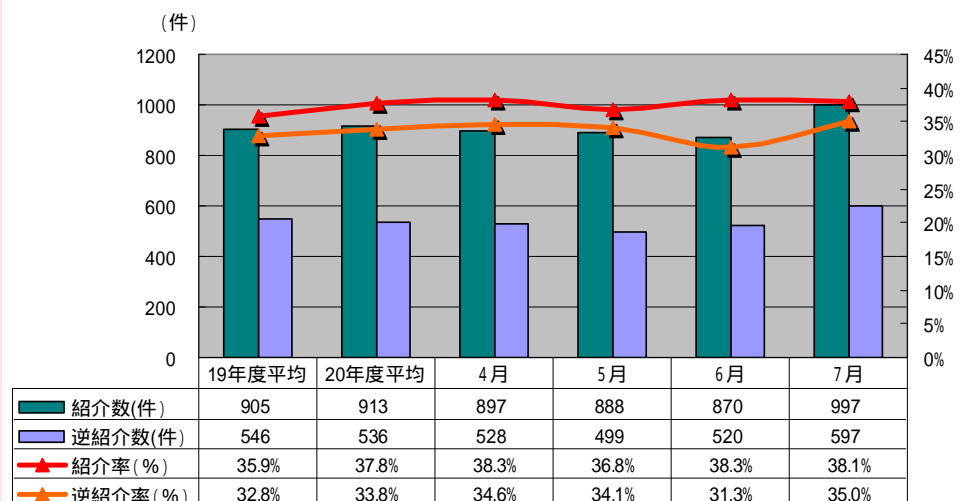
というような、がんを含めた病気に関するさまざまな悩みの相談にお応えします。

相談支援センター：公立置賜総合病院 医療連携室内

：0238-46-5000

(内線1902)

平成20年度紹介件数、逆紹介件数の推移



## 平成20年度の紹介・逆紹介状況

7月現在までの紹介・逆紹介の推移を見てみると、ほぼ昨年同様の状況ですが、若干数値が上向きに転じているような傾向が出てきています。今後とも連携についてよろしくお願ひします。